

ルカの福音書 第10章 42節

「しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリヤはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」

この場面に登場する姉のマルタは、イエスを自宅に招き必要と思われることに大忙しでした。ところが、妹のマリヤはイエスの足もとにすわり、みことばを聞き入ります。姉は妹にも手伝うよう言ってくださいとイエスを責めるように懇願します。姉は最初よろこんでイエスを家に招いていたのに、あまりの忙しさに愚痴に近いことをイエスに言い始めます。招かれたイエスにとってはとんだ迷惑です。家がにわかになぜわづらひ始めます。

イエスは姉の名、マルタ、を二度も呼び語りかけます。あなたはいろんなことを心配し、気を使っています。でも、必要なことは一つです。忙しさに心騒がすのはよくありません、必要な一つのことにあなたのこころを注ぎなさいと語ります。それを実践しているのがあなたの妹マリヤです。ですから、彼女からそれを取り上げてはなりません。むしろ、あなたも妹マリヤに加わりなさい。

必要な一つは、沈黙してイエスの足もとに座ることです。沈黙する者がイエスのみことばに聞き入ることができます。沈黙しイエスとのこころの交わりを体験します。